

第5学年 社会 評価規準表

観点		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元等				
4 月	1. 世界から見た日本	<p>1</p> <p>①主な国の位置と国旗，日本との位置関係を調べ，白地図にまとめたり，言葉で言い表したりしている。</p> <p>②日本の国土の位置や領土，近隣諸国の位置関係について，白地図に書くことを通して理解している。</p>		<p>1</p> <p>①宇宙から見た地球の写真を見て話し合うことにより，大陸や海洋の広さ，日本の位置に関心をもち，意欲的に追究しようとしている。</p> <p>②世界の国々や日本の国土について，学習問題や予想をもち，学習計画を立てようとしている。</p> <p>③これまでの学習を振り返り，予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより，さらに考えを深めている。</p>
	2. 日本の地形や気候	<p>2</p> <p>①日本は山がちな地形で中部地方に高い山があることや，日本の川は短く流れが急で，大きな川の下流に平野が広がっていることを理解している。</p> <p>②日本の気候は，気温や降水量に変化をもとに，六つの気候区分に分けられることを理解している。</p>	<p>2</p> <p>①火山活動やつゆ，台風などの日本の気候の特色と人々の暮らしを関連づけて考え，表現している。</p>	<p>2</p> <p>①日本の地形や気候に関わる疑問を出し合い，学習問題をもち，学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り，自分の考えをまとめ，話し合うことで，さらに考えを深めたり，新たな疑問を生みだしたりしている。</p>

5 月	3. さまざまな土地の暮らし	<p>①地図やグラフ，暮らしごよみから，沖縄県の位置や気候の特色，暮らしについて，自分たちの住んでいる地域と比較しながら読み取っている。</p> <p>②沖縄県では，暖かいところで収穫できる農作物だけでなく，出荷時期をずらし菊を作っていることを理解している。</p>	<p>①台風や暑さに備えた家のつくりや水不足に対する備えなど，沖縄県の人々が気候に合わせて工夫してくらしていることを考え，表現している。</p> <p>②自然や気候，文化，歴史などが沖縄県の魅力になっていることや，それらが観光客の多さと密接な関連があることを考え，表現している。</p>	<p>①4枚の写真と自分たちの住んでいる地域を比べることなどにより，地形や気候の違いが暮らしや産業に関係していることについて，学習問題や予想をもち，学習計画を立てようとしている。</p>
6	4. 食生活を支える食料の産地 5. 米作りのさかんな地域	<p>4</p> <p>①野菜や果物，畜産物を生産する産地は，自然環境と深い関わりをもち，営まれていることを理解している。</p> <p>5</p> <p>①庄内平野での米作りには1年を通して様々な作業があり，農家の人たちはおいしい米を大量に作るために工夫や努力を</p>	<p>4</p> <p>①わたしたちの食生活を支える食料の生産から出荷までの，仕事の工程に関する資料を手がかりに，食料生産に関わる人々の働きを考え，表現している。</p> <p>5</p> <p>①米は，古くから日本各地で作られ，主食として食べられてきたことや炊いたごはんだけでなく，酒や調味料などの様々</p>	<p>4</p> <p>①給食で使われている食材を調べることにより，わたしたちの食生活を支える食料生産に関心をもち，食材の産地について意欲的に調べていこうとしている。</p> <p>②店のちらしなどから食料の産地マップをつくり，話し合うことで，わたしたちが生きていくうえで必要な大量の食料について，学習問題や予想をもち，学習計画を立てようとしている。</p> <p>5</p> <p>①米の生産量や作付面積の資料などから，さかんにつくられている山形県庄内平野について，学習問題や予想をもち，</p>

月		<p>していることを理解している。</p> <p>②庄内平野では安全でおいしい米をつくるために、試験場や農家、JAなどの働きによって、品種改良や有機栽培、栽培技術の向上などがおこなわれていることを理解している。</p>	<p>な食品に加工されており、生活と深い関わりがあることを考え、表現している。</p> <p>②広くて平らな土地や豊かな水、夏の長い日照時間と高い気温などの庄内平野の地形と気候の様子を資料から読み取り、それらと米作りがさかんなわけについて関連して考え、表現している。</p> <p>③庄内平野では、機械化とほ場整備によって、少ない作業時間で大量の米を作ることができるようになったことを関連して考え、表現している。</p>	<p>学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り、学習問題について予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。</p>
7月	<p>6. 水産業のさかんな地域</p>	<p>①魚の習性をいかしながら、まきあみ漁という方法で魚をとっていることや、水産業が自然条件に左右される仕事であることなど、働く人の工夫や苦勞を理解している。</p> <p>②佐賀市ののりの養しょくの様子や資料などから、のりを出荷するまでの働く人の工夫や努力を理解している。</p>	<p>①銚子漁港では、魚種ごとに市場が分かれていること、その周辺には水産関連施設が充実していることなどと、銚子漁港が水あげ量が日本一であることを関連づけて考え、表現している。</p>	<p>①日ごろ消費している水産物の種類や量について関心をもち、日本が主な国のなかでも多くの水産物を消費していることを意欲的に調べようとしている。</p> <p>②水あげ量が日本一多い銚子港について、学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>③これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。</p> <p>④養しょく業の学習を振り返り、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。</p>

<p style="text-align: center;">9 月</p>	<p>7. これからの食料生産</p>	<p>①輸入食料に対する安全性への不安や食料不足、環境などの問題を、グラフや新聞記事、写真などから必要な情報を読み取っている。</p> <p>②水産資源に限りがあるため、漁獲量を維持するための持続可能な漁業の取り組みやそれに関わる人々の工夫や努力、水産物の資源管理について理解している。</p>	<p>①我が国が食料を多く輸入している原因について、農産物の価格や食生活の欧米化などとの関連について考え、表現している。</p> <p>②米作りでのICT化や米のブランド化、次世代型ハウスの取り組みが、農業の生産性を高め、安定した農業生産につながることを関連づけて考え、表現している。</p>	<p>①我が国の食料の多くが輸入されていることについての学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り、食料生産の問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めている。</p> <p>③これまでの学習を振り返り、さらに考えたい問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことで、自分たちには何ができるのかの問題意識を高めようとしている。</p> <p>④これからの日本の食料生産のあり方や食料消費について、自分たちはどう行動すればよいのかについて、話し合うことにより、さらに考えを深めている。</p>
--	---------------------	---	--	---

10	<p>8. くらしや産業を支える工業生産</p>	<p>8 ①日本の工業がさかんな地域は、太平洋の海ぞいに工業地帯や工業地域として広がり、それらが帯として集まっている地域が太平洋ベルトであることを理解している。</p> <p>9 ①自動車工場の写真などをもとに、自動車工場は、広い土地でいくつかの工場に分かれていることや、製造過程では様々な作業があることなど、見学の視点となる内容について読み取っている。</p>	<p>8 ①工業のさかんな地域と、人口や地形、交通といった条件を関連づけ、工業がさかんな地域が条件の適した地域に分布していることを考え、表現している。</p> <p>9 ①関連工場が効率的な仕組みのもとで、部品を自動車工場へ供給することで、品質の高い、無駄のない自動車の生産が実現していることを考え、自動車工場と関連工場との結びつきを表現している。</p>	<p>8 ①身のまわりにある工業製品を話し合うことにより、工業生産とわたしたちのくらしに関心を持ち、日本でつくられている工業製品や工業の種類について意欲的に調べようとしている。</p> <p>②日本国内で様々な工業製品がつけられていることに気づき、それらがどこでつけられているのかについて学習問題や予想を持ち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>9 ①中京工業地帯の様子を調べることにより、自動車工場や関連工場が多いことか</p>
	<p>9. 自動車工業のさかんな地域</p>	<p>②働く人たちの話し合いの様子から、作業内容の見直しや工夫をしていること、</p>		

月		<p>2 交代制の勤務ではラインを停止しないで自動車をつくっていることなどを理解している。</p> <p>③日本の自動車会社が外国との関係や費用をおさえるために、自動車の生産を外国で生産し、販売することが増えてきたことを理解している。</p> <p>④エアバッグや衝突実験など、安全な自動車の研究・開発がおこなわれていることから、すべての人が利用できるよう、人にやさしい自動車の開発がおこなわれていることを理解している。</p>		<p>ら、学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、さらに考えを深めたり、広げたりしている。</p>
11	1 0. 日本の貿易とこれからの工業生産	<p>①日本の工業が、原料やエネルギー資源の多くを海外から輸入していることに気づき、その輸入品が移り変わっていることを理解している。</p> <p>②大工場と中小工場の違いや、東大阪市の中小工場の様子をグラフや写真から読み取っている。</p> <p>③中小工場では、高い技術をいかして生産するだけでなく、互いに協力してより品質の高い製品をつくらせていることを理</p>	<p>①これまでの日本の工業は、貿易や運輸によって支えられ、加工貿易という形で発達してきたことや貿易によって世界の国々と結びつきがあることを関連づけて考え、表現している。</p>	<p>①運輸は産業にとって欠かせない役割であることから、貿易について、学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たな疑問を話し合うことにより、これからの工業生産について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>③これまでの学習を振り返り、さらに考</p>

月		<p>器具の高い製品をつくっていることを理解している。</p> <p>④工業生産に関わる会社や工場が、人材不足の解消や環境負荷の低減などの社会の変化に対応して、高い技術をいかしたり、IoTを活用したりすることで、新しい部品や工業製品をつくりだしていることを理解している。</p>		<p>③これまでの子首を振り返り、さらに考えたい問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことで、これからの工業の発展についてさらに考えを深めている。</p>
12月	1 1. 情報をつくり、伝える	<p>①取材記者が、社会でどのような出来事が起きているのか情報を集め、取材して記事を書いていることを理解している。</p> <p>②正確な情報を早く読者へ届けるために、多くの人に関わって新聞がつくられていることを理解している。</p> <p>③マスメディアによる情報発信は、社会に大きな影響を及ぼすことや、報道被害を受ける人たちが出ることあることともに、まれに捏造した情報があることを理解している。</p>	<p>①情報の収集や選択など、新聞ができるまでに関わる疑問をもち、表現している。</p> <p>②これからインターネットを使う際に情報をどのように取り扱えばよいのか、自分の考えを表現している。</p>	<p>①情報社会に生きる自分たちの暮らしに関心をもち、どのような情報を、どのような方法で手に入れているのかを意欲的に追究しようとしている。</p> <p>②暮らしに役立つ情報を様々なメディアから利用するなかで、役立つ情報がたくさん書かれている新聞について、学習問題や予想をもち、学習計画を立てている。</p> <p>③インターネットの利用拡大や情報通信機器の急速な広まりによって、情報の発信や交流は個人でもおこなわれるようになったことから、情報の取り扱いについて、さらに考えたい問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p>

<p>1 月</p>	<p>1 2. 情報を生かして発展する産業</p>	<p>①アイスクリームをつくる会社では、生産量を決めたり、輸送の計画を立てたりするときの判断材料として予測情報を生かそうとしていることを理解している。 ②とうふをつくる会社での予測情報の活用の様子を、予測情報の資料やインタビューから読み取っている。 ③情報化の進展にともなう産業の発展によって、わたしたちの生活がより便利になっていることを理解している。</p>	<p>①これまでに調べた二つの事例を比較して、予測情報を活用するうえで大切なことについて考え、表現している。</p>	<p>①くらしのなかでの気象情報の活用を振り返り、産業では気象情報がどのように役だっているのか、関心をもとうとしている。 ②気象情報を提供する会社の人の話から、情報がくらしだけでなく産業にも影響があることから、気象情報を利用している会社について、学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。 ③情報社会のよさと課題について話し合ったことをもとに、これからの社会で情報をいかすために大切なことを、産業と国民の立場から考えようとしている。</p>
<p>2</p>	<p>1 3. 環境とわたしたちのくらし</p>	<p>①二つのグラフの読み取りと教科書に掲載されている資料を関連させ、環境が改善されていったことを読み取っている。 ②四日市市では、公害を語り継ぐ取り組みや環境をよりよくする取り組みなどを市や企業、市民がともにおこなっていることを理解している。</p>	<p>①公害に対する取り組みをもとにして、当時の人々の思いを考え、表現している。</p>	<p>①戦後のくらしや環境に関わる年表を調べることで、くらしが豊かになったものの、様々な環境問題などがおこっていることに関心をもち、公害や環境問題、自然災害について意欲的に調べていこうとしている。 ②四日市市で起きた公害で、空気のよごれ、悪臭、騒音などにより多くの人が苦しんだこと、今では改善されているこ</p>

月				<p>とから、学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>③これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことなどを話し合うことにより、環境を守るために、自分たちにできることについて考えようとしている。</p>
3月	1 4. 森林とわたしたちの暮らし	<p>①林業に携わる人々の仕事の様子を調べ、木を育てるには、長い年月と多くの作業が必要であることを読み取り、林業に携わる人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>②国産木材の利用量を増やすための取り組みを調べ、国産木材を積極的に利用することは、人工林を守ることにつながることを理解している。</p>	<p>①手入れをしない人工林が増えると、国土の保全や水源の涵養などの森林の働きが弱まり、わたしたちの暮らしにも影響がでることを考え、表現している。</p> <p>②人々の願いや努力、多くの人々の協力によって、日本には豊かな自然が残されていることや、豊かな自然を守るために大切なことを考え、表現している。</p>	<p>①わたしたちの生活は森林と関わりがあることをとらえ、森林には天然林と人工林があることや、人工林が増加してきたことなどから、日本の森林について学習問題や予想をもち、学習計画を立てようとしている。</p> <p>②これまでの学習を振り返り、学習問題について、予想と違ったことや新たに気づいたことを話し合うことにより、自然を守るために、良い考えだと思ったことや自分にできることを話し合い、考えを深めることができる。</p>